



シリーズ

武雄の治水

vol.43

～水と共に生きるまちへ～

今回のテーマは

今年の大雨について振り返り

雨の多い時期である5月から10月の期間における武雄市内や九州内の今年の雨について振り返ります。

●武雄市内の大雨

5月から10月は梅雨や台風などで雨の多い時期ですが、武雄市は雨の降った回数が少なく、7月の降雨量は平年を大きく下回る数値となり、農業では水不足が問題になりました。しかし、一度に大量の雨が降ることがあり、6月10日は3時間で約80mmの雨、8月10日は令和元年を上回る時間雨量約110mmの猛烈な雨が降り、気象庁から「記録的短時間大雨情報」が発表されました。

大雨により橘町などの一部地域において道路冠水等の被害が発生しましたが、2度の水害を受けて進めてきた六角川の河道掘削や排水機場の整備、排水ポンプ車の稼働により、8月10日の雨では北方小学校南側道路や橘町の国道498号の冠水を防ぐことができました。

年	月総雨量（mm／月）					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月
令和元年	53	167	491	679	138	103
令和2年	182	547	856	138	392	63
令和3年	321	179	136	1,362	155	7
令和4年	49	233	134	239	262	45
令和5年	338	339	398	180	143	36
令和6年	210	350	484	110	106	109
令和7年	343	427	72	249	322	39
過去15年の平均値	176	326	373	361	226	105

▲雨量は、武雄観測所（国土交通省所管）で観測された数値を使用しています。令和6年以降の数値の一部は暫定値のため、今後、変わる可能性があります。



▲6月10日大雨状況



▲8月10日大雨状況



▲市排水ポンプ車の稼働状況



▲排水機場の稼働状況

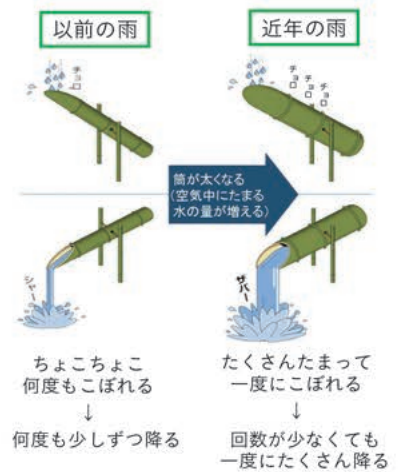
●九州内の大雨

九州では甚大な災害が発生した地域があります。8月7日～8日にかけて九州南部、特に鹿児島県内において大雨が降り続き「大雨特別警報」が発表されました。発達した雨雲が鹿児島県の上空で停滞し、霧島市では24時間降雨量が観測史上最多となる500mmを超え、甚大な被害が発生しました。

また、福岡県では8月9日～12日にかけて「線状降水帯」が繰り返し発生し、1時間当たり約120mmの雨が降る記録的な大雨となりました。大雨による被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

●近年の雨の降り方

雲は空気中の水蒸気が集まってできており、この水蒸気が地上に落ちてきたものが雨です。地球温暖化により、気温が上昇することで、空気中の水蒸気が増えてきて、近年の雨は降る頻度が減り、1度に降る雨の量が増えています。右のイラストの「ししおどし」は空気中の水蒸気の量と雨の関係イメージしたものです。



はじめよう
治水対策



雨水貯留タンクを設置しませんか？

大雨時に、一度に多量の水が河川や水路に流れ込むことを防ぐため、家庭や事業所などで雨水貯留タンクを購入される費用を補助します。

⚠ 購入前の申請が必要です。事前にお問合せください。

対象者	市内の建物の所有者または使用者
対象地域	市内全域
対象経費	雨水貯留タンクの購入費
補助率と限度額	タンク購入費用の2/3 (1,000円未満は切り捨て)

タンクの貯留容量	限度額
100ℓ以上200ℓまで	4万円
200ℓを超え500ℓまで	10万円
500ℓを超えるもの	20万円

貯まった雨水は花木の水やりや非常時にトイレを流す水としても活用できます！



お問合せ まちづくり部 治水対策課 ☎0954-27-7097



シリーズ武雄の治水 バックナンバーはこちらから▶